

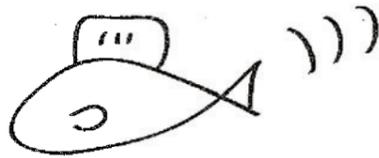
6月わくわくディスカバリー



おっ！さかなちょうちん ピッカピカ☆

用意するもの

- ペットボトル(四角いもの)
- 豆電球 ・ ソケット ・ 電池ホルダー ・ 乾電池
- たこ糸 ・ 竹ひご ・ セロハンテープ
- 両面テープ ・ はさみ ・ カラーペン、色画用紙など
(かざりつけに使用)

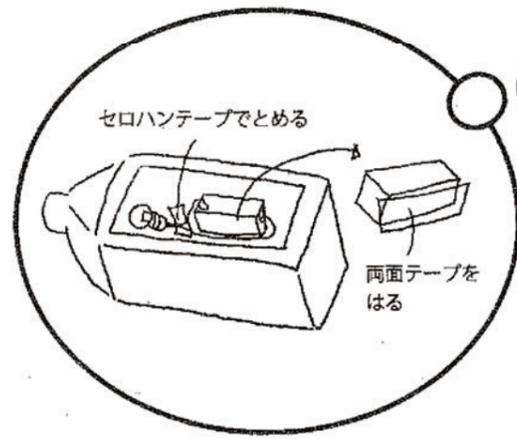
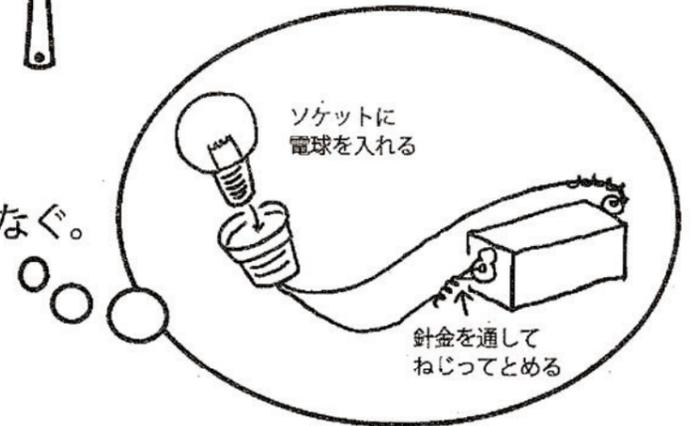


準備しておくこと

ペットボトルの1つの面を切りとって、
ひもを通す穴を4つ開けておく。(大人の人にやってもらおう！)

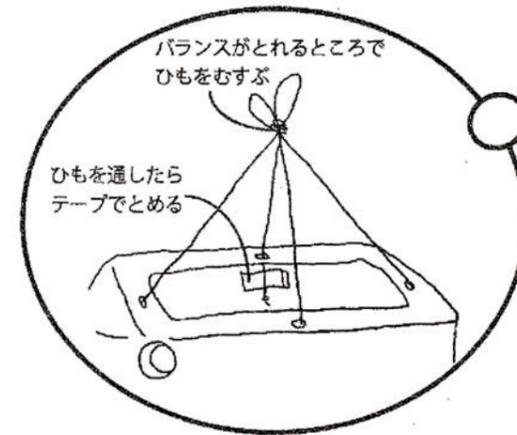
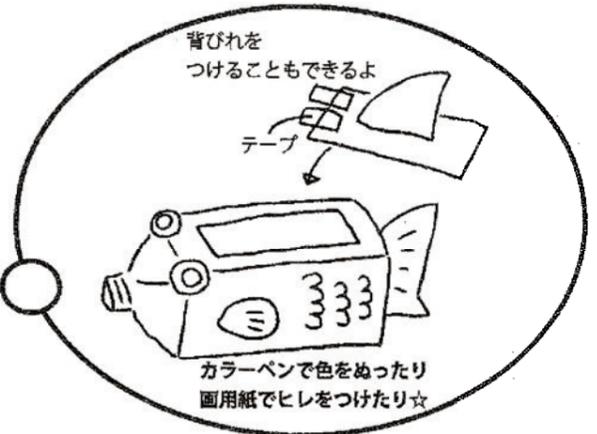
つくりかた

①豆電球をソケットにつけて、
電池ホルダーと豆電球のソケットをつなぐ。



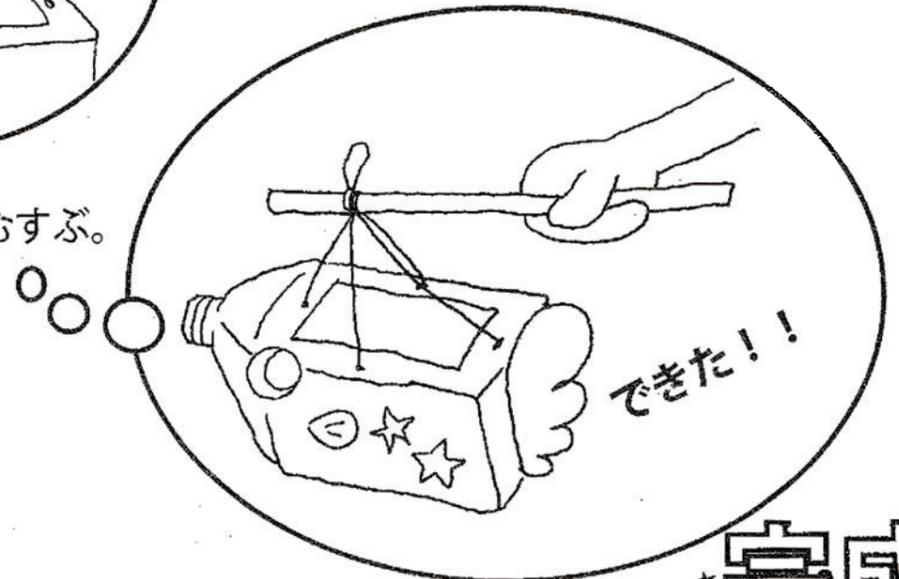
②ペットボトルの中に、電池ホルダーと豆電球の場所を決めて、テープでとめる。
電池ホルダーは両面テープがとめやすいよ

③ペットボトルを自分の好きな「おさかな」にかざりつける。



④ペットボトルにあいている4つの穴にひもを通す。

⑤ひもを竹ひごにむすぶ。



*乾電池を入れて光らせてみよう！

完成!

光る魚のおはなし

光る魚のことを発光魚はつこうぎょといいます。

発光する魚の種類はどれくらいいるのか

現在生きている魚2万種の中の、およそ1000~1500種が発光すると考えられています。特に深海魚に多く、深海魚の約半数が発光魚であるといわれています。

発光現象のはつこうげんしょう違い

発光する魚はどのように発光するかによって、大きく3つに分けられます。

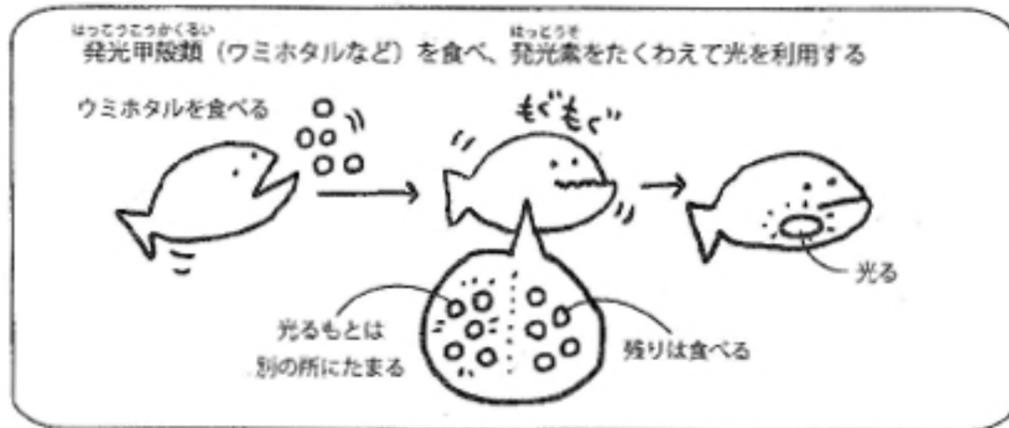
①自力で光る魚



②発光細菌によって光る魚



③光る生物を食べて光る魚



なぜ発光するのか

- ・明るくする
- ・敵を追いはらう
- ・敵からにげる
- ・獲物を捕る
- ・オス、メスの合図

光る魚 ぬりえ

